

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE

2022-2023

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学　学士３年（21歳）

AHMED MANNAN

絵 画

2022年４月　KUMA EXHIBITION 2022 (ANB tokyo)
2021年９月　on the river（二子玉川河川敷）
2021年１月　包まれた触れ幅（四谷未確認スタジオ）

2000年大阪府生まれ。東京藝術大学絵画科油画専攻在籍中。アイデンティティや日常という部分から着想を得て、作品制作を行なう。作者自身が使用していた衣類や日用品などを支持体とした絵画制作を行なったり、近作では日常的に撮っているスマホ写真を転写した作品を制作し、変容し続ける環境と生活を表現している。



多摩美術大学　学士４年（22歳）

池部 ヒロト　HIROTO IKEBE

テキスタイル / ファイバーアート

2021年　UPSTAIRS GALLERY にて展示
2021年　多摩美術大学校友会奨学金
2021年　交換留学奨学金

2000年生まれ。多摩美術大学生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻所属。日本を含めた世界各地に存在する民族の内包する文化、習慣、信仰などの蓄積された記憶からインスピレーションを受け、「土に還るアート」をテーマに日本に古来から存在する素材・技法とテクノロジーを組み合わせたテキスタイルアートの制作を行なう。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学大学院　修士２年（24歳）

乾 真裕子　MAYUKO INUI

パフォーマンスアート / ビデオパフォーマンス

2021年　「学生対象アートコンペ CAF賞 2021」金澤韻審査員賞　受賞
2020年　「彼女たちは歌う」東京藝術大学美術館陳列館　出展
2020年　「第６回平成藝術賞」　受賞

1997年大阪府生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻在籍。フェミニズムやクィア理論を手がかりに、自身の身体を用いたパフォーマンスおよびビデオパフォーマンスを制作する。現在は日本の神話、民話におけるジェンダー表象やクィア表象について研究している。



秋田公立美術大学大学院 修士２年（23歳）

岩瀬 海　UMI IWASE

彫 刻

2022年　「例えば（天気の話をするように痛みについて話せれば）」
2022年　「ARTISTS' FAIR KYOTO 2022」
2021年　「滓 -echo of the mine-」

1998年三重県生まれ。秋田公立美術大学複合芸術研究科在籍。ジェンダーをテーマに人毛や革、コンクリートやFRP、木や鉄など様々な素材を用いる。主に人体をモチーフにし、鑑賞者の皮膚感覚を刺激するような造形制作を行い、差別などの普遍的な暴力に目を向け、鑑賞者の当事者意識を問い直すのが目的である。



日本大学 学士４年(21歳)

uku kasai

音 楽

2021年　1stEP『SIINA』(via Maltine Records) リリース
2021年　PARCO SHAMAN (@ 渋谷 PARCO) 出演

Producer/Singer
2020年から現在の名義で活動を始め、ライブ活動も行う。湿度ある声色をトラックに落とし込むその手法から、他と無い空気感を持った作品を作り出す。



大阪芸術大学大学院　修士１年(22歳)

岡崎 彩香　SAYAKA OKAZAKI

工芸 / ガラス / インスタレーション

2022年　New Glass Review 42 (NY.コーニングガラス美術館)
2022年　KOBE ART MARCHE 2022「Artist meets Art Fair」
2021年　第１回宮若国際芸術トリエンナーレ　優秀賞

1999年大阪生まれ。大阪芸術大学大学院芸術研究科工芸領域ガラスコース在籍中。植物や自然の現象をモチーフに、優しさや心地よさなどの自然のリズムを可視化する目的で制作。光を透過するガラスを用いることで、空間と一体化した展示を行い、言葉で表すことが出来ない自然のリズムや空気感を体感することができる空間表現を目指している。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE

第６期生 プロフィール紹介
ウ・オ
クマ財団 クリエイター奨学金



東京藝術大学大学院　修士２年(23歳)

奥野 智萌　CHIHO OKUNO

インスタレーション

2021年　『SDGs×ARTs 展』出展
2021年　文芸誌『百年寝ようよ vol.2』発行
2020年　NHK のニュース７にて指点字通訳を担当

1998年京都府生まれ、東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻在学中。2020年より目と耳両方に障害を持つ盲ろう者の通訳者となる。それにあたり指点字を習得。自分の中で咀嚼、解釈、デフォルメ、置き換え、勘違い、横転等を経た出来事を漫画や立体で具現化し、鑑賞者へトランスレーションすることを試みている。



東京藝術大学大学院 修士１年(23歳)

奥村 美海　MINAMI OKUMURA

絵 画 / 視覚芸術

2022年　「第70回東京藝術大学卒業・修了作品展」東京都美術館
2021年　「Remix」3331 Arts Chiyoda
2020年　「沈黙」目黒区美術館区民ギャラリー

絵画やインスタレーションを中心に、身体に根付いた描画やストローク、キャラクターや文字のフォルムをモチーフとしながら、それらが再構築され多層的に重なり合う作品を制作。最新作では、平面上でのイリュージョンによる空間性から、画面手前の立体空間へと展開された射影を伴う物理的なストラクチャーによる絵画空間の生成を試みている。



東京藝術大学大学院 修士２年（25歳）

賀口 舟梧 SHUGO KAGUCHI

版 画

2019年　第８回 FEI PRINT AWARD 求龍堂賞
2018年　第86回日本版画協会展 入選

版表現が生み出すイメージの変化と自身が抱える問題意識をオーバーラップさせた創作を行う。版表現が生み出す「大体一緒で、ちょっと違う。」現象は、大量の人間、大量の情報、大量の既製品で形成された社会を脱構築したような世界観を示す。群と個、マトリクスとデリヴァー、そしてプロダクトとアートワーク。これらの境界を表すことで既成概念に綻びを見出そうとしている。



早稲田大学　学士３年（22歳）

帷子つらね TSURANE KATABIRA

短 歌

2020年　「ハイドランジア」30首で第32回歌壇賞受賞

2000年生。歌人。早稲田大学文化構想学部在籍。言語やコミュニケーションの排他性や暴力性、脆さをテーマに短歌を制作・発表。個人での活動のほか、短歌ユニット「越冬隊」メンバーとしてフリーペーパーや作品集を刊行。マイノリティ当事者の立場から、短歌定型や日本語社会が抱える「ふつう」を問い直し、オルタナティヴな読み／詠みの在り方を模索している。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE



慶應義塾大学 学士４年（21歳）

加藤 陸 KATO RIKU

工 芸 / からくり

2022年　株式会社 IDENCE 創業
2018年　FAB 3D CONTEST 特別賞
2018年　Minecraft Meet a Minecrafter 選出

鹿児島県南九州市頴娃町育ち。慶應義塾大学環境情報学部在学中。普段は3DCG映像作品の制作やデジタルファブリケーション技術を用いた制作を行っている。デジタルデバイスが台頭し、仕組みを知らないモノが溢れた現代に、からくり機構として動作原理が魅力に結びつくプロダクトの考案・制作を行っている。



東京藝術大学 学士３年（22歳）

金子 太一 TAICHI KANEKO

建 築 / 家 具 / エンジニアリング

2021年　日本橋 PARKLET 家具
2021年　「KOGEI NEXT 展」出展

東京藝術大学建築学部在籍。木工や鉄鋼、伝統工芸の基本制作に対してデジタルファブリケーションを用いた制作を行い、「力学的な合理性」や「素材としての合理性」を求め、建築として応用されていくことを目的としている。主に家具や彫刻の制作と、素材の開発に注力し、プロセスの新規性と手法としての確立を目指す。



成安造形大学 学士4年(21歳)

北村 侑紀佳 YUKIKA KITAMURA

絵画 / ファインアート

2022年　個展「あした世界が終わるなら」(アートカクテル)
2022年　明日をひらく絵画 第40回上野の森美術館大賞展 入選
2020年　個展「おもいが絡まる」(芝田町画廊)

2000年滋賀県生まれ。成安造形大学美術領域洋画コース在籍。不在の中で誰かがそこに居たという痕跡や気配が個々人のアイデンティティを超えてただ「生」を示していることに注目し、その存在に触れるための作品を制作。表現メディアはペン画、油彩、切り絵、写真、インスタレーションなど。



東京藝術大学大学院　修士2年(24歳)

黒田 零 REI KURODA

インスタレーション/写真/映像/パフォーマンス

2021年　Nikon Photo Contest Grand Prize 受賞

東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻在籍。University of Applied Arts Vienna 留学。「循環」「脱人間中心主義」をテーマに写真、映像を中心として光と闇を扱うインスタレーションや、プリミティブとテクノロジーを融合させた音楽パフォーマンスも行う。Nikon Photo Contest 2021 Grand Prize (video) 受賞。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE

第6期生 プロフィール紹介
キ・コ
クマ財団 クリエイター奨学金



東京藝術大学大学院 修士2年(23歳)

桒原 幹治 KANJI KUWAHARA

映像/音楽/リズム論

2021年　カブトムシ 1st アルバム『色即ラグーン』リリース
2021年　国際会議 NIME 2021 作品採択
2021年　CAF賞 2021 入選

1998年生まれ。素朴なようで複雑なリズムの概念とその諸相に迫る。打楽器奏者としての経験やリズム論の研究をもとに、映像、インスタレーション、パフォーマンスなど様々なメディアで制作を行う。東京藝術大学音楽環境創造科卒業、同大大学院映像研究科メディア映像専攻在籍。カブトムシのメンバー。



東京藝術大学大学院 修士1年(25歳)

コエダ 小林 KOEDA KOBAYASHI

プロダクトデザイン / 実験家 / デザイナー

2022年　KOKUYO Design Award
2021年　NPO法人 JGDSA 家具
2018年　ミラノ DW FutureDomePZ

兵庫県姫路市の村で育つ。2019年、神戸芸術工科大学を卒業。安積伸の事務所で経験を積む。現在は個人でデザイン事務所を営みつつ、東京藝術大学に所属し「コエダ 小林」の名義にて実験家として活動。また、「21B STUDIO」としてチームでも活動を行う。自然現象の翻訳をテーマに研究者のように意識深く物事に向き合いつつ、探検家のように純粋に探求を楽しんでいる。



東京藝術大学大学院　修士1年（23歳）

國分 莉佐子　RISAKO KOKUBU

絵 画 / 現代美術

2022年　「メランコリック日常」（Artas Gallery，福岡）
2021年　地方芸術祭「ストレンジャーによろしく」（芸宿, 金沢）
2020年　「AS ABOVE SO BELOW」（四谷未確認スタジオ, 東京）

1999年生まれ。東京都出身。東京藝術大学大学院油画技法材料研究室在籍。幼少期に経験した知覚体験から知覚・認知プロセスへの疑問を軸に絵画制作をしている。近年ではタッチパネル等のデジタルデバイスの進化と人間の認知の発達の関係性を探る試みを行う。



東京藝術大学大学院　修士2年（24歳）

後藤 光利　MITSUTOSHI GOTO

絵 画

2021年　畜産とアートプロジェクト
2021年　群馬青年ビエンナーレ　入賞

1998年　2月24日 生まれ　日本人
2017年　東京藝術大学 入学
2020年　上野芸友賞 受賞
2021年　東京藝術大学 主席 卒業
　　東京藝術大学 杜賞 受賞
　　東京藝術大学大学院 入学



東京藝術大学大学院　博士1年（25歳）

小松 実紀　MIKI KOMATSU

工 芸

2021年　個展「色づく輪郭」（京都）
2021年　KOGEI Art Fair KANAZAWA 2021（金沢）
2021年　グループ展「Transfiguration」（Lisbon）

1996年新潟県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程在籍。私はガラスを用いて"人間の姿"をモチーフに、自身のこれまでの経験や思考に基づき制作を行っている。主な技法として吹きガラスを用いており、さらに様々な技法を組み合わせることでガラスの新しい表情や独自の表現を生み出している。



東京藝術大学大学院 修士2年（25歳）

斉藤七海　NANAMI SAITO

彫 刻 / 現代陶芸

2022年　art stage Osaka（大阪）
2022年　グループ展「存在」（兵庫）
2021年　滋賀県陶芸の森 アーティストインレジデンス

1996年大阪府生まれ。西洋哲学や仏教やアニミズムなどの思想に影響された自身の哲学に基づき、フィールドワークを通して陶芸作品を制作している。主な作品「The Forest」シリーズは、素材の融合や焼成後の凝固など、自然条件により生まれる陶芸の焼成過程での姿と、屋久島でのフィールドワークで触れた屋久杉の「生死の交錯」を重ねている。



早稲田大学大学院 修士２年(24歳)

櫻井 悠樹 Yuki Sakurai

ファッション / 建 築

2022 年　第 96 回装苑賞ファイナリスト（審査中）
2021 年　赤れんが卒業設計展 2021　最優秀賞
2021 年　2020 年度早稲田大学建築学科卒業設計　金賞

建築を学ぶ傍ら、独学で衣服の制作活動を行う。建築用3DCADを服飾に転用した独自のパターン設計手法を持ち、服そのものが強い空間性を持つ複雑な造形を実現する。衣服を空間受容のための機器と捉え、身体感覚を誘発する衣服を製作する。デザインと技術の両面においてファッションと建築の分野横断の可能性を探求する。



東北芸術工科大学大学院　修士２年(23歳)

ささき なつみ NATSUMI SASAKI

絵 画 / インスタレーション

2021 年　「東北芸術工科大学卒業制作展」優秀賞
2021 年　「トリエンナーレ豊橋星野眞吾賞展」大賞
2020 年　「岩手芸術祭美術展」日本画部門　芸術祭

「別の生き物としてありたい」という自身の欲求から、本来私たちはヒトの型に収まり切れない欲求を抱えながら生きていて、人間の在り方は私たちが想像する異星人のように多種多様であってもよいのではと考えるようになった。そこで、動植物や虫の特徴と人体が融合した未知生物を革や陶・植物を主に用い、"生物としての人間の在り方を解放する"ことを目的に制作している。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学大学院　修士１年(23歳)

柴田まお SHIBATA MAO

彫 刻 / インスタレーション

2022 年　「TOKYO MIDTOWN AWARD 2021」優秀賞 / 東京ミッドタウン
2022 年　「極寒芸術祭 2022 Teshikaga」/ 北海道 弟子屈町
2021 年　「SHIBATA MAO Open Studio」黄金町 AIR / 黄金町バザール

1998年、神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻在籍。2021年「TOKYO MIDTOWN AWARD 2021」優秀賞受賞。現代に於いて、多様化する「人と人の繋がり」や、その中で生まれる「コミュニケーションの在り方」をテーマに、フィジカルとデジタルを介した彫刻作品や、インスタレーションを制作する。



東京藝術大学 学士２年(23歳)

白川 深紅 SYNC SHIRAKAWA

絵 画

2022 年　札幌 500m 美術館賞 掛軸「胸中山水」
2022 年　木更津重城病院 壁画制作「松舞」「日月」
2022 年　東京都恵比寿駅前高架下壁画制作

作品制作・展示行為を「身体の拡張」と捉え、次々と建ち顕れる境界を紡ぐ有機的な表現を探求。昨今は、幼少期から表現の場であったデジタル世界では表現しきれない重さや感触、存在感を求め日本美術の文脈を踏まえつつ素材研究にも取り組む。祖父の遺骨を砕き作品にした絵画『ストゥーパ』に端を発する人類遺骨画材化計画や、朽ちることを前提にデザインした恵比寿駅前壁画など多領域に渡り活動。



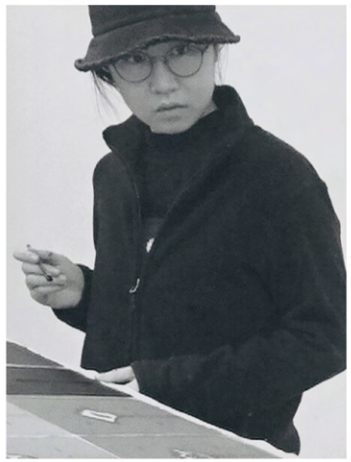
北海道大学大学院　修士１年（23歳）

鈴木 湧登　YUTO SUZUKI

VR / AR / MR / xR

2022年　北大テックガレージ（SFP02）採択
2021年度　経済産業省 IPA 未踏 IT 人材発掘・育成事業採択

北海道大学大学院情報科学院情報科学専攻情報理工学コース修士課程在籍。合気道の体の使い方の習得を支援するソフトウェア群の開発や感情を記録するアプリケーションを開発する。XR開発やAndroidアプリの開発を通して人間の身体や思考といったアナログなものとデジタルの調和を目指している。



東京藝術大学大学院　博士２年（25歳）

曾 斯琴　ZENG SIQIN

工芸 / 染織 / インスタレーション

2021年　藝大コレクション展 2021 II 期 / 東京美術大学美術館
2021年　全国染織作品展 /「佳賞」受賞
2021年　個展「人間花像」

1996年、中国湖南省生まれ。清華大学（北京）美術学部工芸美術専攻卒業。東京藝術大学美術研究科工芸科染織専攻修士修了、現在同研究室博士後期課程在籍。伝統工芸技術を根底として、社会や人々との関係性に主眼を置き、ジャンルを超える多岐なアプローチをとることで、現代社会に溶け込む染織作品を創り出すことを目指している。



沖縄科学技術大学院大学 Ph.D. 学生１年（25歳）

高田 一真　KAZUMA TAKADA

サイエンス /HCI/ 身体性認知科学

Augmented Humans2022 Honorable Mention
SIGGRAPH ASIA2021 E-tech Best Demonstration Award

1997年生まれ。私たちの自己感覚の柔軟さについて、Human-Computer Interaction、また身体性認知科学の観点から研究活動に従事している。自身の研究活動を論文という形式だけでなく、展示やワークショップを通じてより多くの人に体験してもらえるようなデモンストレーション設計と実践をしながら、自身の問いについて探究している。



東京藝術大学大学院 修士１年（22歳）

髙野 真子　TAKANO MAKO

映像

2021年　「のぞいてみよう、でんちゅうさん家の芸術っこ」 WS
2020年　「今日は朝から夜だった、目をつむると見えてきた」 二人展
2019年 2020年　「歩く！空間楽器コンサート」Furukawa Lab

東京藝術大学大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻 在籍。現在は自身の子宮内膜症という病気をきっかけに、生命倫理の問題を考え映像作品を制作している。私は作品の中で、思わず息を詰まらせてしまう緻密な映像から、張り詰めた空気を与えることを意識している。そこから、生命の産み生まれる関係性について、当事者の意識を強制的に呼び起こしたいと考える。



嵯峨美術大学大学院 修士２年（23歳）

竹歳 和真 KAZUMA TAKETOSHI

絵 画 / 日本画

2021 年　「第 6 回石本正日本画大賞展」準大賞受賞
2021 年　「第 21 回福知山市佐藤太清賞公募美術展」入選
2021 年　「京都花鳥館賞奨学金 2021」入選

「写生と作品の関係性」を主題、「自然界に存在する対象の実在感研究」を副題に日本画の研究制作を行っている。基本とされる日本画制作過程のそれぞれ、役割や効果、意味を探ると同時に、作品化への根本である「写生」を自然物を対象に追求する。自身の内面のみで作品を完結させるのではなく、制作の過程や発表の機会などを通して、社会や人々と繋がることに喜びを感じる。



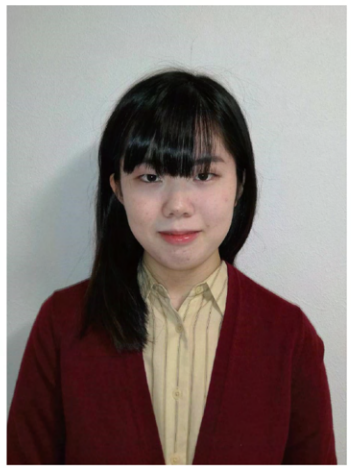
ロンドン芸術大学　修士１年（25歳）

土屋 佳祐 KEISUKE TSUCHIYA

音 楽 / サウンドアート

2020 年　NYCEMF2020 入選
2020 年　1st Album “Bricleur” 発表

ロンドン芸術大学在籍。音楽と美術の境界で作曲活動やサウンドアートの実践を行う。人新世や新唯物論を手掛かりに、楽曲、音響彫刻の制作や即興パフォーマンス、フィールドレコーディングを通して、人とそれを取り巻く環境の関係性の音的解釈を試みる。



名古屋市立大学 学士４年（22歳）

中川 朝子 ASAKO NAKAGAWA

小 説 / 短 歌 / 詩 / インスタレーション

2021 年　第 39 回大阪女性文芸賞　受賞（史上最年少タイ）
2021 年　第 17 回出版甲子園　準グランプリ
2021 年　第 9 回星新一賞学生部門　優秀賞

2000年生まれ、愛知県在住。大学進学を機に小説を書き始める。創作の原点は手塚治虫で、「SF的な面白み」と「文学としてのテーマ性」の両立を目指す。科学に日夜触れる自分が文学の構築を試みる違和感を、それぞれの創作に落とし込んでいる。夢は理系文学の地位を確立させることである。短歌や詩、コピーライト、文字を用いたインスタレーション等、小説というプラットフォームに囚われない創作も行っている。



東京藝術大学大学院 修士１年（23歳）

中瀬 絢音 AYANE NAKASE

音 楽 / 作 曲

2022 年　同声会賞受賞
2021 年　「コーラ （非）都市的音響空間」初演
2021 年　「かはたれどきのうた」初演

1999年生まれ。東京藝術大学修士課程作曲専攻在学中。東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業し、同声会賞受賞。近年は他分野領域の研究・調査に基づいた作曲を行なっている。オーケストラ作品が藝大フィルハーモニア管弦楽団により初演、第12回音楽大学オーケストラ・フェスティバル 2021 にて初演されるなど、新作を多数発表。他分野芸術に強い関心があり、コラボレーションによる制作も行う。



早稲田大学　学士３年(20歳)

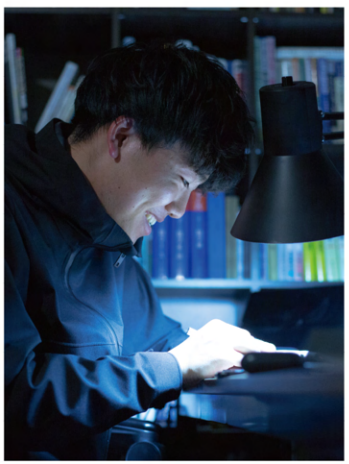
のぐちふみや　NOGUCHI FUMIYA

音 楽

2022 年 6 月 「Japan」配信リリース

「C子あまね」で音楽と宗教をやっています！メンバー募集中です！

個人メール：noguchifu0725@gmail.com
団体メール：amanechikako@gmail.com
よろしくお願いします！



筑波大学　学群４年(23歳)

長谷川 泰斗　HASEGAWA TAITO

プロダクトデザイン

2021 年　KOKUYO DESIGN AWARD ファイナリスト

1998 年茨城県生まれ。筑波大学 芸術専門学群 情報・プロダクトデザイン領域。人が存在する空間をフィジカル / デジタルの視点から捉え直すことで、形態に囚われない新しい空間体験を探求。音や光、振動をベースに、空間を拡張する装置としてのプロダクトデザインを主軸としている。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE



多摩美術大学　学士４年(21歳)

葉 南　HANA

映 画 / 映画監督 / ビデオグラファー

2022 年　雑誌 NYLONJAPAN 新垣結衣表紙ムービー
2021 年　雑誌装苑 11 月号 小松菜奈表紙ムービー
2021 年　自主短編映画制作、「Mcguffin」にて掲載

2000年生まれ。現在、多摩美術大学芸術学部に在学。高校時代より独学で映像制作をし、現在は主に雑誌「NYLON JAPAN」「装苑」、アパレルブランド等のプロモーションムービーを担当。ビデオグラファーとしても活動する傍ら、自作の短編映画制作を行う。今年制作する初の長編映画では監督、脚本、編集、スタイリングを担当。



九州大学大学院 修士２年(24歳)

樋口 紗矢　SAYA HIGUCHI

建 築 / 身 体 / 感 覚

2021 年　BeCAT 環境住宅コンペ 最優秀賞　※現在、実施設計中
2020 年　CLT アイデアコンテスト 2020 農林水産大臣賞
2020 年　JIA 全国学生卒業設計コンクール 2020 吉村靖孝賞

1997年福岡県生まれ。九州大学大学大学院 人間環境学府 建築意匠学専攻。物質としての建築、人体、それらを媒介する感覚。感覚は現象を捉え、そして現象そのものでもある。現象を手がかりとし感覚から生まれる身体的建築を追求する。



東京藝術大学大学院 修士２年（24歳）

福島 周平 SHUHEI FUKUSHIMA

彫 刻

2021年　個展『walk looking behind』開催
2020年　京都市立芸術大学作品展 市長賞

表現メディアと作品を鑑賞する身体の関係性をテーマに研究を続けてい る。特に彫刻と写真に注目し、両者の歴史的な関わりや内包する「時間」への考察から制作を展開している。



東京音楽大学大学院 修士２年（24歳）

福丸 光詩 KOJI FUKUMARU

音 楽／芸術音楽／キリスト教

2021年　第 90 回日本音楽コンクール作曲部門第１位
2018年　第 16 回東京音楽大学学長賞受賞

東京音楽大学大学院作曲研究領域修士課程２年に在籍。これまでに作曲を中橋愛生、原田敬子、細川俊夫の各氏に師事。現代におけるキリスト教神学と芸術音楽との関わりを研究しつつ、「信仰と音楽」を創作テーマに作曲活動を行う。2021年第90回日本音楽コンクール作曲部門第１位、併せて三善賞及び明治安田賞受賞。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学大学院　修士２年（24歳）

まちだリな Machida Lina

アニメーション

2022年　個展「シックスイヤーズオールド」
2022年　国際短編映画祭 SSFF&ASIA ノミネート
2021年　六本木アートナイトプロジェクト　配信上映

アニメーション作家。1997年生まれ。6歳。東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻在籍。主に絵の具と光を用いたアナログ表現でアニメーションを制作。



東京藝術大学 学士４年（22歳）

松橋 和也 KAZUYA MATSUHASHI

映 像

2021年　マレビトの会『グッドモーニング』試演会・出演（城崎アートセンター）
2020年　「今日は朝から夜だった、目をつむると見えてきた」（藝大食堂ギャラリー）
2019年　「TURN in HAVANA」参加

新潟県妙高市生まれ。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科在籍。青年団所属。言葉や身体における個人の表れ方に関心をもちつつ、映像や演劇といったメディアを用いて作品制作を行う。近年は舞台作品への出演等も行っており、主な出演に、マレビトの会『グッドモーニング』試演会・出演（城崎アートセンター）、隣屋『オイディプス／コロノスのオイディプス』（こまばアゴラ劇場）など。



大阪大学大学院　修士１年(24歳)

馬淵 悠美 YUUMI MABUCHI

舞台芸術/パフォーマンス/アートプロジェクト

2022年　《ならやま風土譚》
2022年　《Dance in the Bathroom》
2019年　《松戸市在住アトレウス家》

東京藝術大学音楽環境創造科卒業。大阪大学大学院人文学研究科アートメディア論コース在籍。社会との接続をはかりながら、パフォーミングアーツの技術を用いて創作活動をおこなう。また、ダンサー・今井亜子とのアマチュア身体表現家ユニット「3時」で活動中。異なる土地で各々暮らす二人で、自分たちと社会との間で感じることをユーモアを交えながら作品にしている。



Royal College of Art 修士１年(23歳)

Maya Masuda

メディアアート/インスタレーション/彫刻/映像

2022.4.　Bloomberg New Contemporaries Shortlist
2021.9.　フェミニスト表象文化誌　i+med(i/e)a 創刊
2021.4.　Selected Artist - ESC？WAVE #2031, AW

"New Media in Abjection"を主題に、人とテクノロジーの融合として定義されてきた「サイボーグ」を、人間とテクノロジー、モノ、動物などあらゆるものがその脆弱性によって開かれ混合する場所から再定義するような活動を行う。専門をNew Mediaのフェミニスト批評におき、活動は、フェミニスト批評誌 i+me(d/e)aの出版やアクティビズム、キュレーションなど多岐にわたる。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE



東京工業大学 工学院 修士１年(22歳)

道上 竣介 MICHIGAMI SHUNSUKE

テクノロジー / AI

2022年　第三回全国高等専門学校 ディープラーニングコンテスト 第３位 受賞
2022年　wavelogy 株式会社を設立
2020年　高専ワイヤレス IoT コンテスト 2020 総務大臣賞 受賞

佐世保工業高等専門学校を経て東京工業大学 工学院 電気電子工学系へ所属。モノづくりが好きで自分の思い描くものを自由に実現できるよう勉強している。現在は音景解析技術を用いて、音より周囲の状況を把握するシステムの研究を行っている。wavelogy株式会社を設立し、森における害獣・害虫の分布測定や街中における防犯などへの応用を目指す。



東京大学大学院 修士２年(24歳)

南 佑樹 YUKI MINAMI

建 築 / モビリティ

2022年　ビルバオ・グッゲンハイム美術館 出展（研究室活動）
2021年　東京大学卒業制作奨励作
2017年　REDBULL BOX CART RACE TOKYO

ETH Zurichへの交換留学を経て、現在東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程に在籍。専門は建築意匠設計。データ分析をはじめとする幅広い分野の知識を生かして、従来の建築設計分野にとどまらない活動を展開中。大学院では、自動運転車などの次世代モビリティが普及する未来を見据え、都市・建築がその変化にどう応答するのか、そして設計行為がどう変容するのかを考えている。



東京藝術大学大学院 修士３年（24歳）

室元 拓人 TAKUTO MUROMOTO

音楽／クラシック／作曲

2022年　2022年度武満徹作曲賞第１位
2021年　第90回日本音楽コンクール作曲部門第３位
2020年　Flux Quartet来日公演にて作品初演

第37回現音作曲新人賞入選、第90回日本音楽コンクール第3位、第11回JFC作曲賞入選、2022年度武満徹作曲賞第1位（審査員：ブライアン・ファーニホウ）など受賞多数。作品は、東京フィルハーモニー交響楽団、フラックス弦楽四重奏団、アンサンブル・アンテルコンタンポランなど、国内外で広く演奏されている。近年は、日本各地に伝わる神事や儀礼をテーマに創作を行っている。



東京藝術大学大学院　修士１年（22歳）

Moche Le Cendrillon

メディアアート／ドラッグクイーン／現代美術

2021年　ドラァグ・ショー「デパントに寄せて」出演
2021年　「ケルベロス・セオリー」企画・出展
2021年　ファッションショー「House of fabulosity」衣装・メイク

個人的な痛みの経験やコンプレックスを起点に、社会にある様々な「イメージ」が刷り込むジェンダーや美醜のステレオタイプを逆説的に表象、解体するためのパフォーマンスやメディア作品を制作している。近年はドラァグ・クイーンの活動を並行して行っており、その経験から女性やマイノリティ当事者にとっての安全な対話空間となるセーファー・スペースの作り方や交差性の問題に興味を持ち、イベント企画やZINE作成も行う。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE



筑波大学 学士２年（19歳）

望月 草馬 Mochizuki Soma

テクノロジー

2022年　未踏スーパークリエータ認定
2021年　未踏IT人材発掘・育成事業採択

2002年京都府生まれ。中学生の時にVRに惹かれ、高校では超音波を用いて触らずに触った感触を提示する装置の開発に取り組む。大学入学後は受験中に考案した安価かつ簡便な位相制御手法の実現による技術の民主化や、物理世界の情報量の欠落による実質世界との消極的融合ではなく実質世界の情報量の増加による積極融合を目指して新たなメディアの開発に挑戦している。



東京藝術大学大学院 修士２年（25歳）

森 聖華 KIYOKA MORI

工芸／陶芸

2022年　森聖華 作陶展『瑞々』
2022年　第16回藝大アートプラザ大賞展　準大賞
2021年　東京藝術大学卒業修了作品展2020 平成藝術賞

1996年長崎県出身。東京藝術大学大学院美術研究科工芸専攻陶芸研究分野在籍。主に生物を用いて浄化をテーマに陶芸作品を制作している。作品制作には自然豊かな土地で育った経験が根底にある。また、並行して生活を彩る食器類の制作も進めている。



愛知県立芸術大学大学院　修士２年（23歳）

山﨑 結子　YUIKO YAMAZAKI

写 真 / インスタレーション

2022 年　NEWoMan YOKOHAMA×The Chain MuseumVo.4「現実への挑戦」
2020 年　全国大学版画展　優秀賞
2020 年　SHIBUYA PIXEL ART AWARD Beyond pixel art 賞

個人間のコミュニケーションを重要視し制作を行う。色や形、質感の要素を組み合わせた造形美を意識した画面作りで、鑑賞者に対してわかりやすく親しみやすいアプローチを意識した制作。他者と関わり理解することで自身の中で生まれた共感を「他者受容」と解釈し、具現化することを目的とした制作。この２つの制作を行うことで外面と内面を同居させたそのままの自分で社会と関わりを持つことを試みている。



広島市立大学大学院　博士前期２年（24歳）

山下 栞　SHIORI YAMASHITA

パフォーマンスアート / 現代美術

2022 年　個展「美術をもう一度好きになるための予行演習」
2021 年　「第 24 回広島市立大学芸術学部卒業・修了」
2020 年　「カナリアがさえずりを止めるとき」

1997年大阪府生まれ。広島県在住。日本の美術教育における諸問題を制作・研究の主題としている。高校美術科の非常勤講師として勤めながら、学校教育という制度内の美術の問題を眼差し、日々思考と実践を繰り返す。また、ハラスメントのない学習環境実現に向け、学生による有志団体を立ち上げ活動中。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE



筑波大学　学士２年（20歳）

山名 琢翔　TAKUTO YAMANA

テクノロジー

技育展 2020&2021 無駄開発部門最優秀賞
2018 年度未踏 IT 人材発掘・育成事業スーパークリエータ
World Maker Faire New York 2018 Editor' s Choice

メイカー。「趣味とものづくり」と「ものづくりの民主化」というテーマで気の向くままにものを作る。ものづくりへの無駄な障壁を無くし、好きな人が、好きなときに、好きなだけ、ものを作れる社会を目指す。この目標達成のため技術情報を積極的に公開し、ものづくりのハードルを少しずつ下げている。代表作品は立体パズルロボット、オセロAI。



横浜国立大学大学院 修士１年（23歳）

湯田 冴　SAE YUDA

写 真 / 映 像

2022 年　グループ展「蛇とあの子とサイボーグ」PARA
2020 年　グループ展「未日常」新宿眼科画廊

東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。現在横浜国立大学大学院都市イノベーション学府建築都市文化専攻在籍。特定の物や場所についてリサーチをもとにSFを主題とした写真・映像を制作することで、別の視点から記録することを試みている。2020年安宅賞受賞。2022年卒業制作作品買上賞受賞。



東京藝術大学大学院　修士２年（23歳）

横手 太紀　TAIKI YOKOTE

彫 刻

2022 年　個展「even a worm will turn」parcel
2022 年　「惑星ザムザ」新宿区にある製本工場跡地のビル
2021 年　「獣（第 0 章 / 交叉時点）」北千住 BUoY

1998年神奈川県逗子市出身。身の回りに存在する気に留められることの少ない物に着目し、既製品の動きを利用したギミックや彫刻的アプローチを行うことによって、それらの「野性的な側面」を浮き上がらせる。動きを持たせた彫刻やインスタレーションを中心としながら、近年は映像を用いるなど表現の幅を広げている。



東京藝術大学大学院　修士２年（24歳）

横山 渚　NAGISA YOKOYAMA

写 真

2021 年　「第 56 回 神奈川県美術展」写真部門　特選
2020 年　「第 41 回 2020 フォックスタルボット賞佳作

1997年生まれ。東京藝術大学美術研究科先端藝術表現専攻修士課程在籍中。東日本大震災の際に発生した液状化現象の被害にあった経験から、自然と人工の関係性をテーマに制作を行っている。写真・映像・インスタレーションなどを用いて展開している。

KUMA FOUNDATION
CREATORS SCHOLARSHIP
6th GENERATION CREATORS PROFILE



東京藝術大学大学院　修士２年（25歳）

渡邉 泰成　TAISEI WATANABE

工 芸 / 陶 芸 / 漫 画

2022 年　第 14 回現代茶陶展 入選
2021 年　愛知県立芸術大学卒業制作展 作品買い上げ賞
2021 年　16th 藝大アートプラザ大賞 ゲスト審査員賞

東京藝術大学 美術研究科 先端芸術表現専攻在籍。工芸を軸に、自分自身が影響を受けた現代の文化や社会問題をテーマに作品制作。自身の色彩感覚を大切に、伝統的な美として価値ある工芸に自分自身が影響を受けた現代における要素や社会や文化を私なりに解釈し取り入れ形にすることで、過去から現代に存在した残すべき価値を作品として構築し、未来に継承する表現を模索している。

以上、55 名 / 五十音順

※ 掲載情報は、2022 年 4 月 1 日段階のものです。

ONLINE PROFILE

クリエイター奨学金奨学生の「作品の観覧」「活動情報」は、上記 QR コードからアクセスして下さい。

KUMA EXHIBITION

2018

2018.3.24(Sat) - 3.25(Sun) | SPIRAL GARDEN & SPIRAL HALL



2019

2019.3.21(Thu) - 3.24(Sun) | SPIRAL GARDEN & SPIRAL HALL



2020

2020.4.19(Thu) - 5.22(Sun) | SPIRAL GARDEN & SPIRAL HALL **Canceled**



2021

2021.4.27(Tue) - 5.31(Mon) | ONLINE

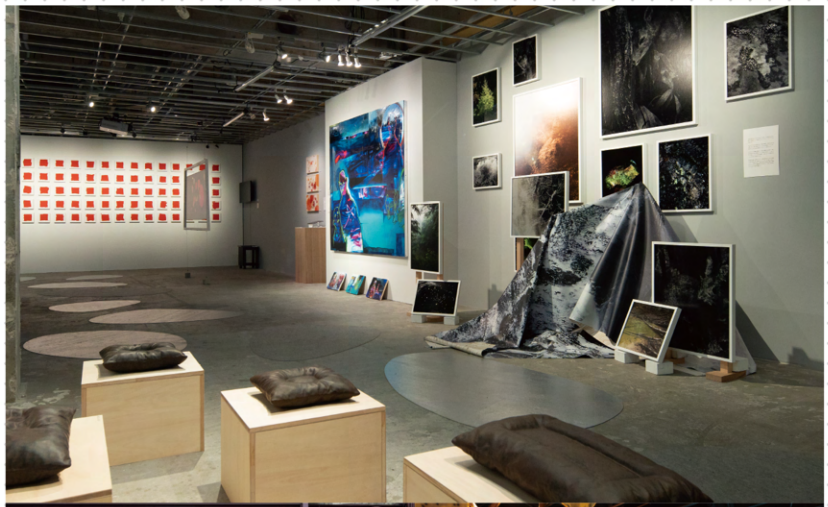


KUMA EXHIBITION ARCHIVE
Ex
クマ財団 クリエイター奨学金

KUMA EXHIBITION 2022

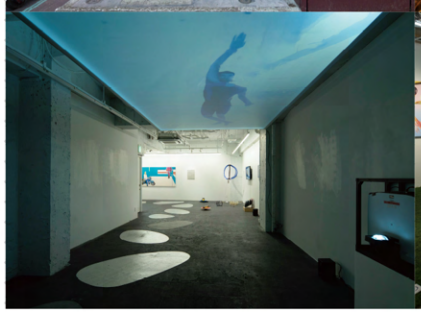
Part.01

2022.3.18(Fri) - 3.27(Sun) | ANB Tokyo & HOLLYWOOD HALL











Part.02

2022.4.01(Fri) - 4.10(Sun) | ANB Tokyo





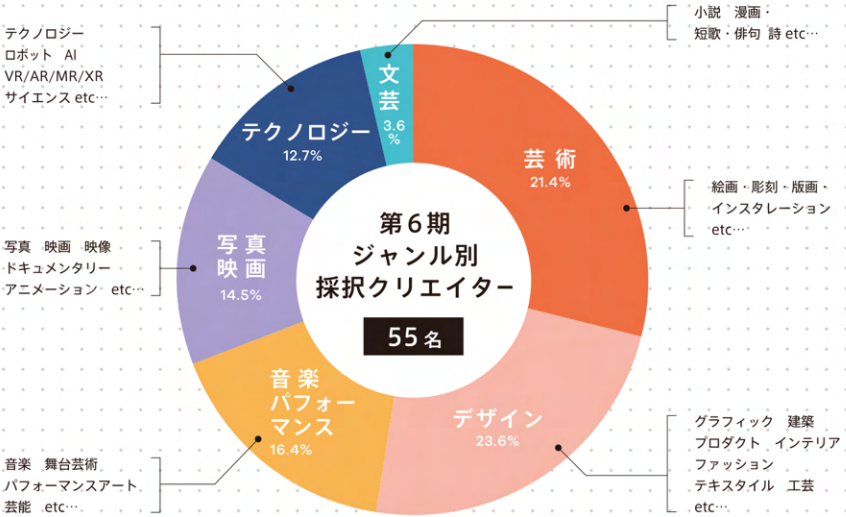


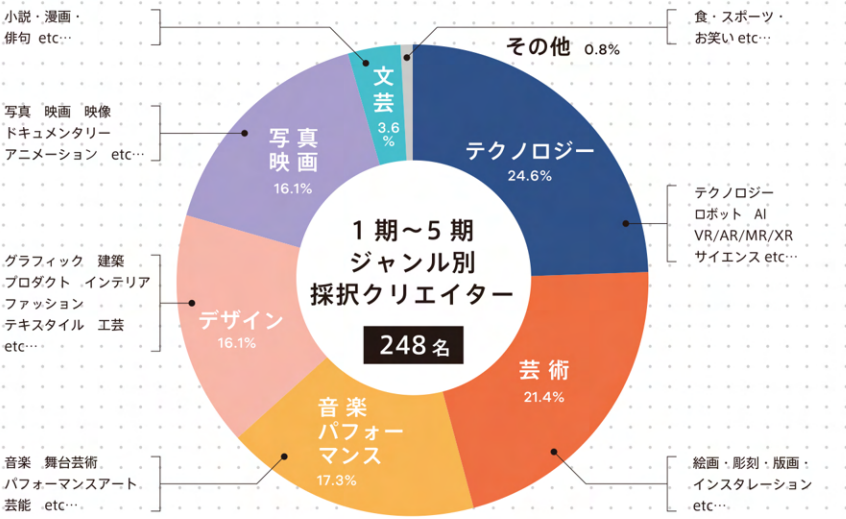




KUMA FOUNDATION
CREATORS' SCHOLARSHIP

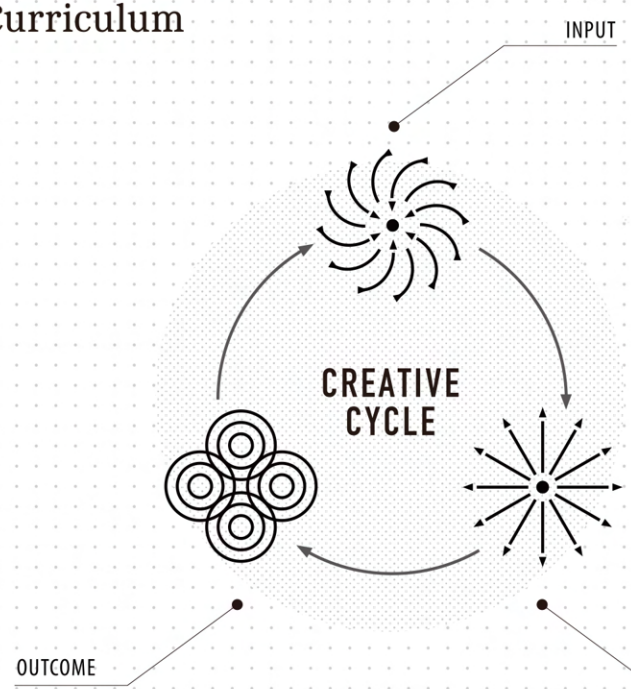
References





KUMA FOUNDATION
CREATORS' SCHOLARSHIP

Curriculum



#2 INPUT 学び
ガイダンス
合宿

#3 PREVIEW 共有
中間発表会
ディスカッション

#4 BRUSH UP 向上
プロジェクト進行
創作サポート

#5 OUTCOME 成果発表
成果発表会
活動報告書提出
アーカイブ制作
給付継続審査

#1 OUTPUT 創作活動 通年（6月〜3月）
用途自由の資金支援

KUMA FOUNDATION

CREATORS
SCHOLARSHIP

6th
GENERATION
CREATORS
PROFILE

2022 - 2023

クマ財団
クリエイター奨学金
第 6 期生 プロフィールブック

Date of Issue
July.01,2022

Publisher
Naruatsu Baba

Executive Editor
Yoshifumi Nomura
Yasue Konaka
Ai Uchiyama

Issuance
KUMA Foundation

Limited Edition



KUMA
FOUNDATION
クマ財団